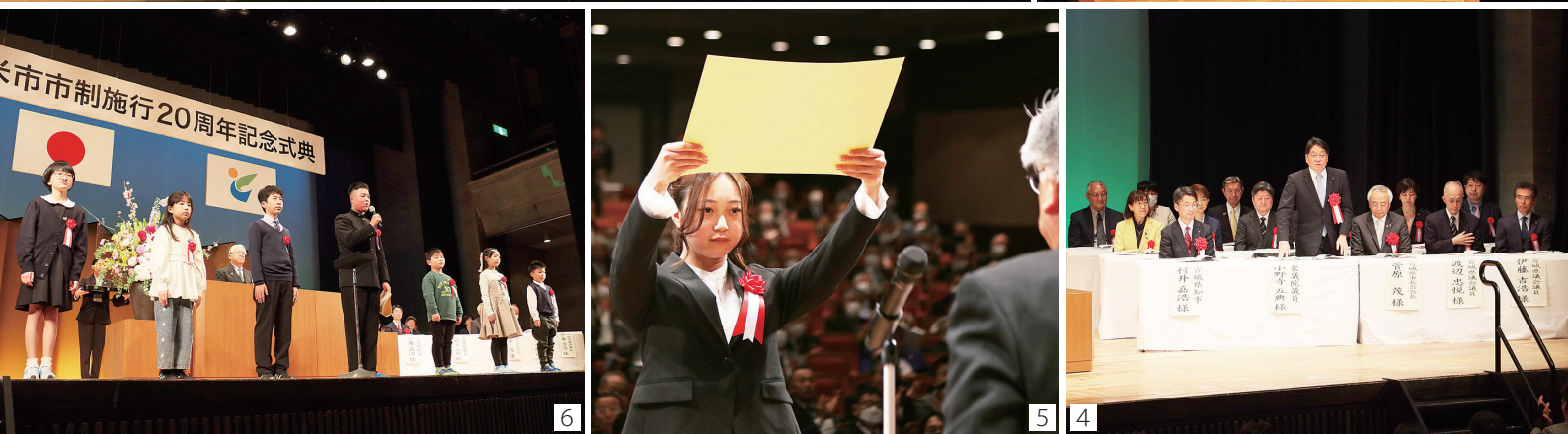




1 式辞を述べる熊谷市長。先人と市民に感謝の思いを伝え、本市のさらなる発展を誓った2 司会は本市出身でフリーアナウンサーの佐々木真奈美さんが務めた3 式三番と能の「羽衣」が披露され、節目の年を祝った4 多くの来賓が出席し、小野寺五典衆議院議員や、姉妹都市である入善町の笹島春人町長もお祝いに駆け付けた5 市制施行20周年記念ロゴマークの最優秀賞を受賞した佐藤羽矢さん(石越町第一)が表彰された6 10年後の登米市のまち絵画コンクールの入賞者が表彰され、中学校の部優秀賞の木村未来さん(米山町栗ヶ崎)が代表で賞状と記念品を受け取った

登米市市制施行20周年記念式典



7 及川氏と竹川氏に熊谷市長からとめふるさと大使の委嘱状が手渡され、本市への思いを語った8 及川氏が市制施行20周年を祝い、ポロネーズ第6番 変イ長調 作品53「英雄ポロネーズ」を演奏。会場中に美しい旋律が響き渡った9 及川氏の伴奏で佐沼高校の生徒と共に来場者全員で市民歌を斉唱。会場内が一体感に包まれた

市制施行
20周年記念映像



式典で上映した映像を上記二次元コード(YouTube)からご覧いただけます



～ 市制施行 20 周年記念式典を開催 ～

さらなる飛躍へ 新たな一步を踏み出す



登米市は、平成17年4月に市制を施行してから20年の節目の年を迎えました。これを記念して、4月6日に「市制施行20周年記念式典」を水の里ホール・Abebisou(登米祝祭劇場)で開催。来賓や市民など約450人が出席しました。

開式に先立ち、合併から20年の歩みを振り返る記念映像を上映。登米謡曲会による登米能も披露され、式典の幕開けを飾りました。

式典では、熊谷盛廣市長が「本市の将来像である『あふれる笑顔豊かな自然住みたいまちとめ』の実現に向けて着実に歩みを進めていきます」と式辞を述べました。

また、「市制施行20周年記念ロゴマーク」と第三次登米市総合計画策定に伴う「10年後の登米市のまち絵画コンクール」の入賞者を表彰したほか、本市出身で世界的ピアニストの及川浩治氏と、東北風土マラソン発起人代表の竹川隆司氏に、とめふるさと大使の委嘱状が交付されました。

記念公演として及川氏がピアノを演奏し、来場者を魅了しました。さらに、式典の締めくくりには、佐沼高校の生徒が同校の卒業生でもある及川氏の伴奏で市民歌を斉唱。式典に花を添えました。